

## 研修会報告

- 1 研修会名 令和元年度（2019年度）城北地区生徒図書委員研修会
- 2 実施期日 令和元年（2019年）6月10日（月）
- 3 実施会場 熊本県立図書館 3階大研修室ほか
- 4 参加者 城北地区の高等学校（菊池農業高校、鹿本農業高校、鹿本高校、鹿本商工高校、玉名工業高校、玉名高校、北稜高校、岱志高校、有明高校、専修大学玉名高校、玉名女子高校、阿蘇中央高校、翔陽高校、大津高校、高森高校）の図書委員会に所属する生徒（46名）及び教職員（22名）、計68名

### 5 研修概要

#### (1) 開会（10:00～）

- ・開催校挨拶 ・図書委員長挨拶 ・日程説明

生徒による司会進行のもと、代表校図書委員のあいさつ、代表校の学校司書の先生から日程説明がありました。

#### (2) 研修Ⅰ：図書館の説明及び見学

県立図書館指導主事より図書館の種類や公立図書館の役割、県立図書館の構造や資料、利用方法などについての説明を受けました。その後、2班に分かれて1階子ども図書室、2階第1閲覧室、3階第2閲覧室、BM（ブックモービル）書庫、くまもと文学・歴史館を見学し、それぞれの場所で司書や担当職員から説明を聞きました。



<指導主事による説明>



<3階閉架書庫見学>

#### (3) 研修Ⅱ：文学講座『文豪ストレイドッグス』でブンガクしよう

くまもと文学・歴史館主幹による、高校生に人気の漫画『文豪ストレイドッグス』を題材とした文学講座を行いました。作品に登場する太宰治、与謝野晶子ら6名の文豪について、文豪達の実像や作品・人物の魅力について解説がありました。また、熊本に関連するエピソードや、文豪の実像と漫画の類似点、相違点についても解説されました。まとめとして、作品のテーマについて解説され、生き方を模索する主人公・中島敦の姿を話されました。最後に、くまもと文学・歴史館の収蔵作家、江津湖の風景を題材としたオリジナル曲「文豪の散歩道」のギター弾き語りを披露されました。



## <昼食・休憩>

### (4) 研修Ⅲ：レファレンスについての説明及び調査作業（13：00～）

県立図書館司書より、図書館のレファレンスサービスについて、説明を受けました。レファレンスサービスとはなにか、レファレンスの種類、質問・相談を受けるときの注意点やレファレンスインタビューについて、調べ学習の際のインターネットの活用についても高校生にわかりやすく説明されました。その後、A班～I班に分かれて、学校図書館の先生方が作ったレファレンス課題に取り組みました。班ごとに違う課題が用意され、レファレンス課題の回答を探すために、県立図書館全館を使って探し回る姿が見られました。班は他校の生徒同士で組んでおり、他校の図書委員と協力しながら真剣に課題に取り組む姿がみられました。



<レファレンスサービスについての説明>



<手分けして本を探しています>

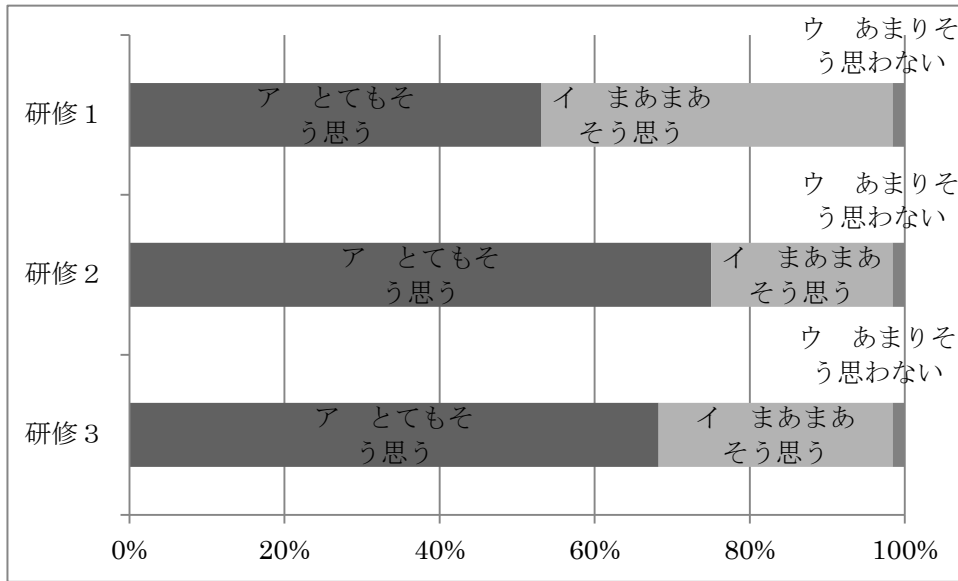
### (5) 閉会（14：45～）

- ・図書副委員長挨拶 ・来年度担当校紹介、挨拶

最後に代表校図書副委員長挨拶と先生方からの諸注意等があり、閉会となりました。閉会后に、くまもと文学・歴史館の説明がありました。希望者のみの参加でしたが、ほとんどの生徒が参加されました。

## 6 アンケート結果及び感想

〈各研修は、理解が深まる内容だったか。〉



全ての研修で、「そう思う」と答えた生徒・教職員が98%でした。特に、研修2については、とてもそう思うと答えた割合が高く、充実した研修に内容になったのではないかと考えられます。概ね理解の深まる内容であったようです。

しかし、感想の中に、時間配分についての意見が見られました。(研修1について「もっとゆっくり回りたいかった。」研修2について「時間に対して盛りだくさんすぎではないか。」研修3について「時間が足りなかった」等) このことから、わかるようにこの研修の目的をはっきりとさせながら、何を学んでいただくのかに重点を絞って時間配分を決定する必要があったように思えます。

今後も、こういった研修を積極的に受け入れていくとともに、参加された方々が満足できる研修になるよう目的意識を持って研修の運営に臨みたいと思います。